

第109回日商簿記3級 第1問 仕訳問題類題 問題・解答

次の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は次の中から最も適切と思われるものを選ぶこと。

現 金	当 座 預 金	売 掛 金	買 掛 金
仕 入	売 上	受 取 手 形	支 払 手 形
備 品	手 形 売 却 損	支 払 家 賃	受 取 家 賃
所 得 税 預 り 金	従 業 員 立 替 金	受 取 手 数 料	支 払 手 数 料
未 収 入 金	未 払 金	租 税 公 課	前 受 金
前 払 金	仮 受 金	仮 払 金	現 金 過 不 足
資 本 金	手 形 貸 付 金	手 形 借 入 金	貸 倒 引 当 金
貸 倒 損 失	償 却 債 権 取 立 益		

1. 前期掛売り分の売掛金 ¥ 200,000 が回収不能となり、貸倒として処理した。なお、貸倒引当金の残高は ¥ 100,000 であった。
2. 従業員の給料について源泉徴収していた所得税 ¥ 100,000 を小切手を振り出して税務署へ納付した。
3. 備品 ¥ 200,000 を購入し、代金のうち ¥ 50,000 は小切手を振り出して支払い、残額は翌月末に支払うこととした。なお、備品の引取運賃 ¥ 20,000 と据付費 ¥ 10,000 は、現金で支払った。
4. 得意先大友商店振り出しの約束手形 ¥ 200,000 について、銀行で割り引き、割引料 ¥ 5,000 を控除した残額は当座預金とした。
5. 先月、仮受金として処理していた内容不明の当座入金額は、松永商店から注文を受けた際の手付金受取額 ¥ 100,000 と、足利商店に対する掛け代金の回収額 ¥ 50,000 であることが判明した。

・解答

	借方科目	金 額	貸方科目	金 額
1	貸 倒 引 当 金	100,000	売 掛 金	200,000
	貸 倒 損 失	100,000		
2	所 得 税 預 り 金	100,000	当 座 預 金	100,000
3	備 品	230,000	当 座 預 金	50,000
			未 払 金	150,000
			現 金	30,000
4	当 座 預 金	195,000	受 取 手 形	200,000
	手 形 売 却 損	5,000		
5	仮 受 金	150,000	前 受 金	100,000
			売 掛 金	50,000